

令和 5 年度 学校教育アンケートのまとめについて

早春の候、保護者の皆さまにはお元気で過ごしのことと存じます。平素は本校教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、先日実施いたしました学校教育アンケートにおいて、293 件のご回答をいただきました。ご回答いただきました保護者のみなさまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

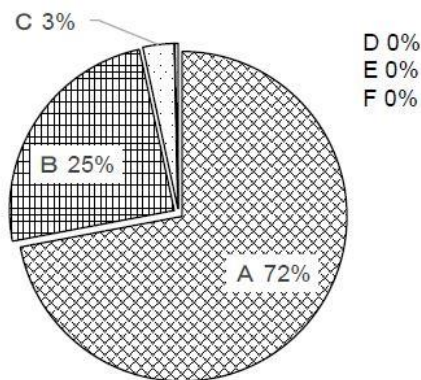
つきましては、アンケートの集計が整いましたので、結果をお知らせいたします。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、来年度の本校の取組みにいかしてまいりたいと考えております。今後も、学校教育や児童の指導等でお気づきの点がございましたら、学校までお知らせいただけますと幸いです。ご理解ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

集計結果は、以下のように示しております。

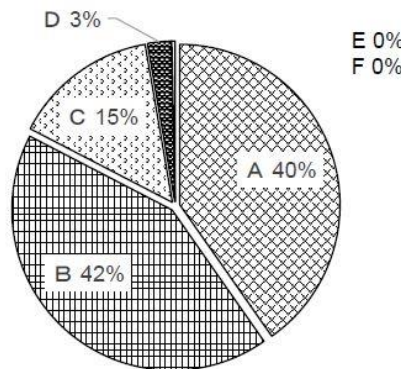
A.: そう思う B.: だいたいそう思う C.: あまりそう思わない D.: そう思わない E.: わからない F.: 無回答

(1) 家庭教育に関すること

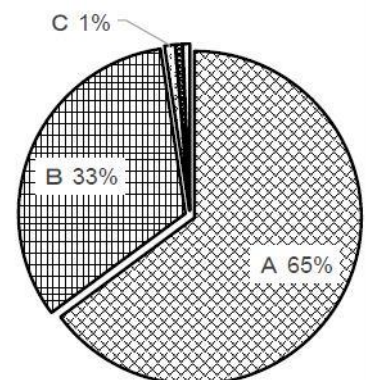
1. 子どもに家庭や近所であいさつをするように教えている。



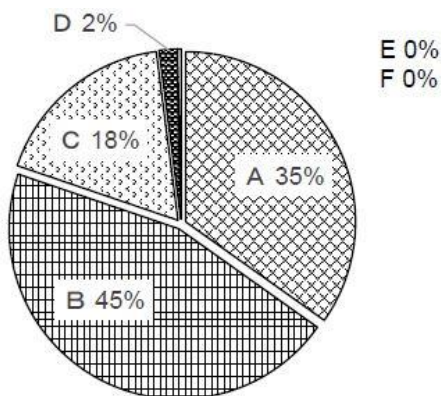
2. 子どもに家庭学習の習慣をつけさせている。



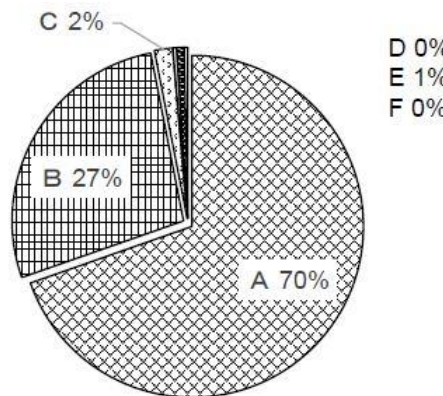
3. 家庭では、子どもとの会話を大切にしている。



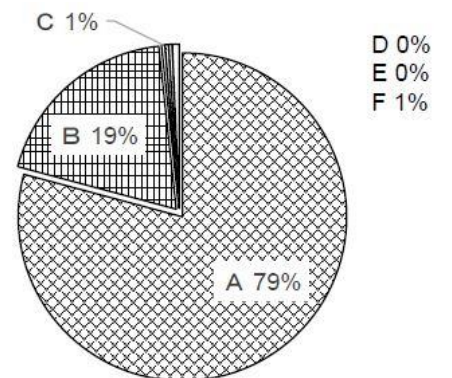
4. 家庭では、子どもにお手伝いをさせている。



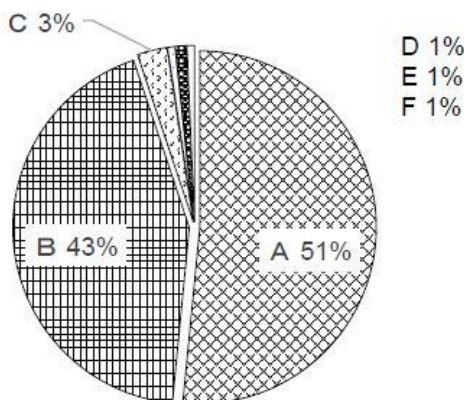
5. 家庭では、子どもに生命を大切にする心を育てようとしている。



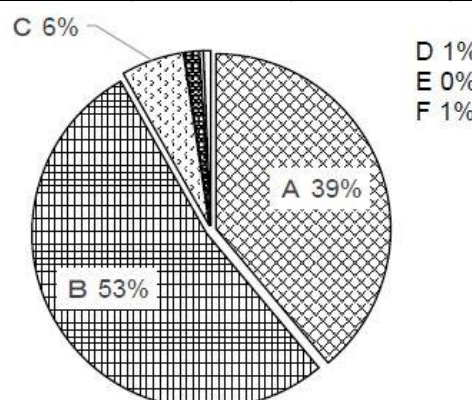
6. 家庭では、子どもに自分や友だちを大切にする心を育てようとしている。



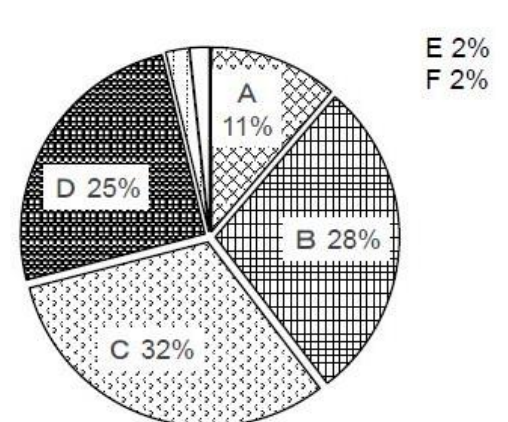
7. 家庭では、子どもに社会のルールを年齢に応じて教えている。



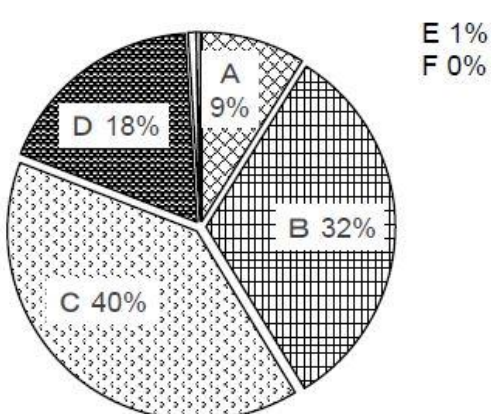
8. 学校からの文書や事務連絡などをよく読んでいます。



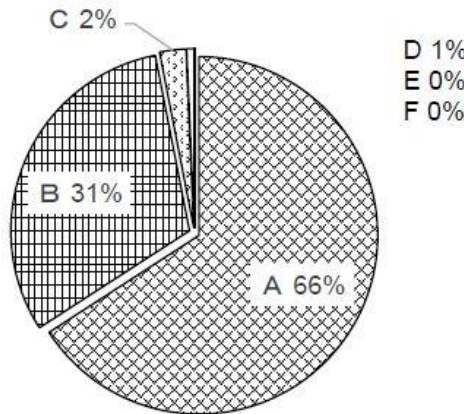
9. PTA活動に積極的に参加している。



10. 他の保護者の方々と話す機会を多くもっている。



11. 家庭では食事・歯磨き・睡眠などの生活習慣を身につけさせている。



●家庭教育についてのアンケート結果より●

○『3. 家庭では子どもとの会話を大切にしている』…【肯定的回答】98%

子どもの健全な育ちを考えるうえで、家庭において、学校のことや、友だちのこと、勉強のことを子どもと話す機会があることは、学校としても非常に大切なことだと感じております。一方で、特に高学年になると、ゲームや携帯電話に夢中になり、家庭における会話が減ってきているという声を聞きます。中には、個人で楽しく遊んでいた携帯のアプリから、外部とやり取りできる機能をさわってしまい、そこに保護者が気づかず、知らない間に犯罪に巻き込まれそうになる事案も聞きます。子どもとたくさん会話する中で、子どもの行動や困り感にも気づいてもらえるとうれしいです。

▲『PTA 活動に積極的に参加している』…【否定的回答】R4:13% → R5:14%

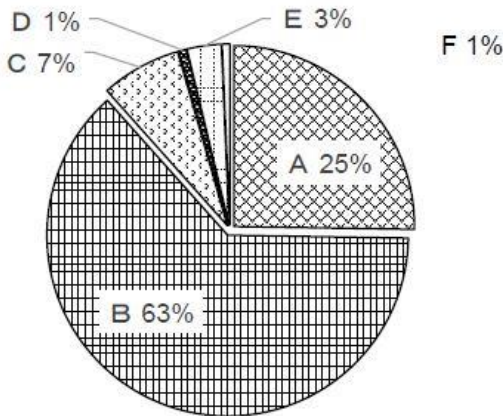
▲『他の保護者の方々と話をする機会を持っている』…【否定的回答】R4:10% → R5:9%

PTA 活動に関する2項目については、昨年度に引き続き肯定的回答が低い結果となっています。今年度、コロナ禍と比べ、できるようになったことが多くなり、PTA 役員の方々は「コロナ前の PTA 活動について、今年やってみなければ、おそらく二度と復活することはないので、とにかくやってみよう」を合言葉に、教養講座を企画したり、学校の様子を伝える広報誌を毎月発行したりと、非常に一生懸命活動されていました。また、自由記述のご意見の中に「参観等の門の開放に関する安全が不安」というものがありました。今年度は、PTA 学年委員さんに、誰もいない中での門の開放がないよう呼びかけましたが、それでもさらに多くの支援が必要と感じています。保護者が参加する学校行事を実施するうえで、PTA のみなさまの学校安全に対する支援は欠かせません。PTA 役員や委員の方々の活動に対して、ご協力くださいますようお願い致します。

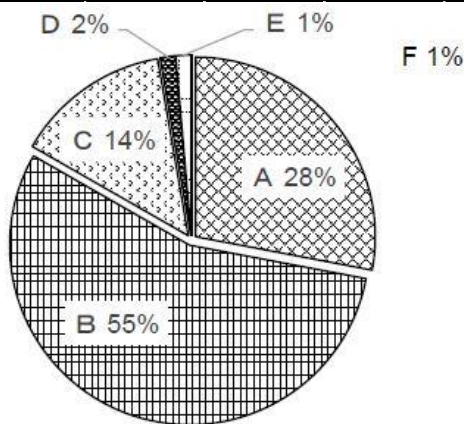
全体的に、ほとんどの項目において、肯定的な回答(集計結果における A もしくは B)が 90%を超えていました。学校運営協議会では、学校教育と家庭教育の課題をもとに年間数回の協議をしています。今年度は、校門開放が復活するなど、地域の方で学校教育と家庭教育を支援してくださっています。今後も学校と家庭と地域がいっしょになり、子どもたちの健全な未来を支援していきたいと考えています。

(2) 学校教育に関すること

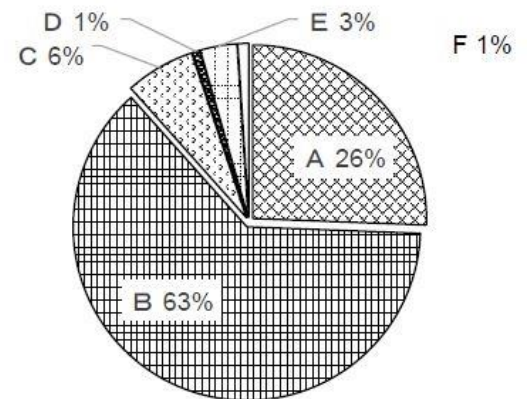
1. 学校は、保護者・地域との連携を大切にしている。



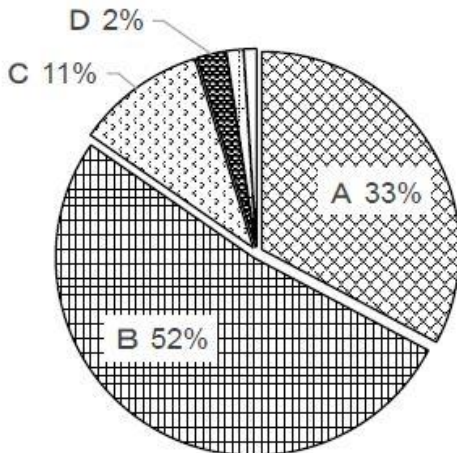
2. 学校は、教育活動や学校での子どもの様子について伝えている。



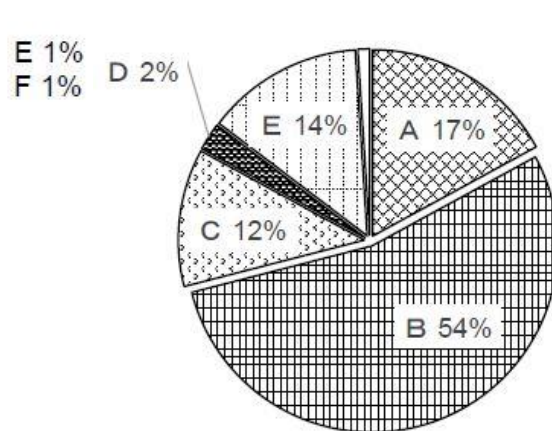
3. 学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。



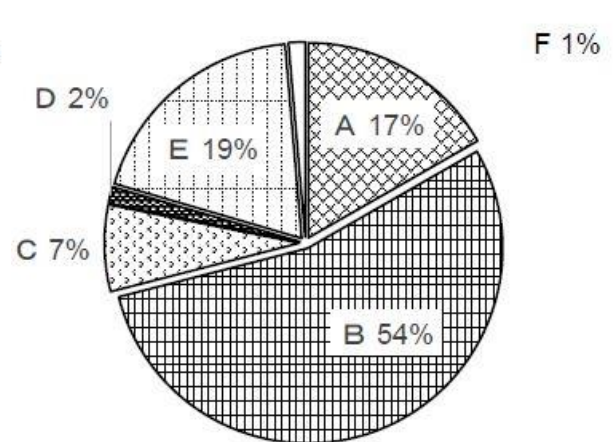
4. 学校に、子どものことについての相談ができる。



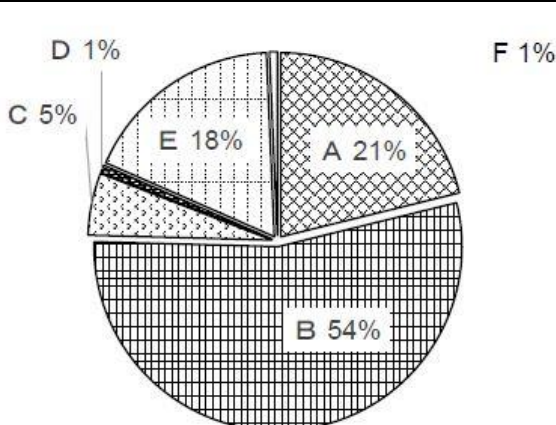
5. 学校は、子どもの不正な言動には厳しく指導している。



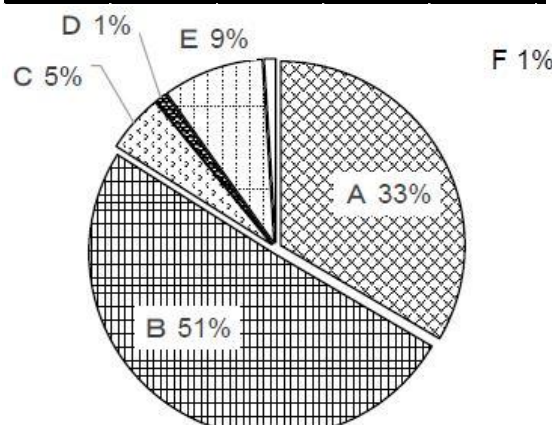
6. 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。



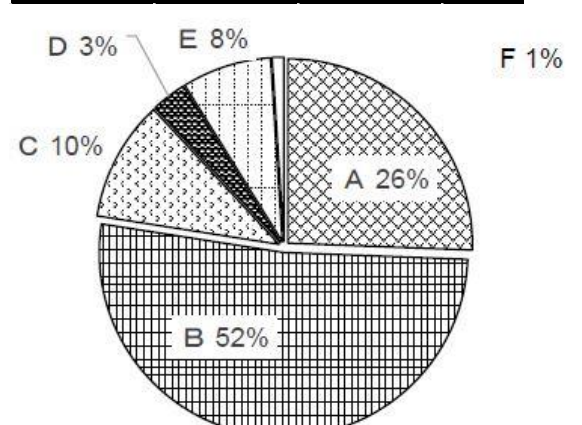
7. 学校は、学年に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



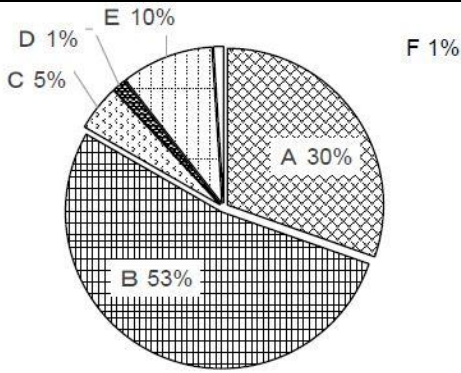
8. 学校は、地震・火災・台風・不審者などに対する危機管理を適切に行っている。



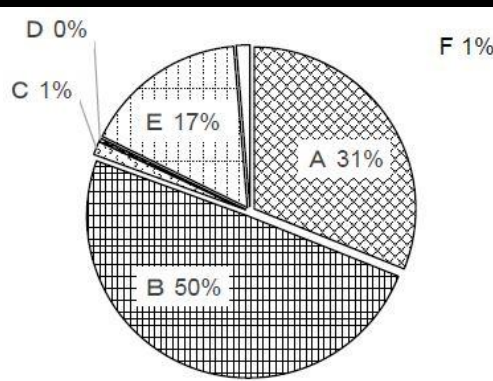
9. 学校は、登下校時の安全についての指導をしている。



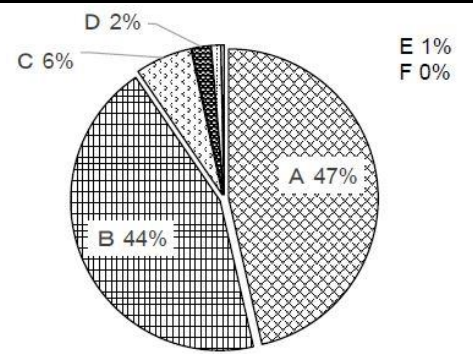
10. 学校は、食事の重要性や食文化など食に関する指導に取り組んでいる。



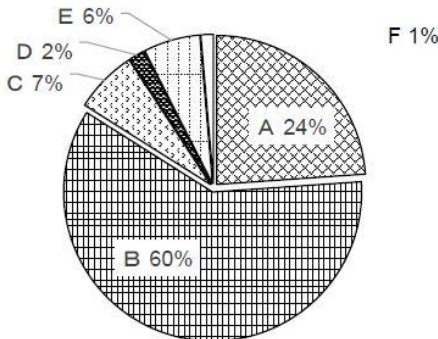
11. 学校は、児童の個人情報を適切に管理している。



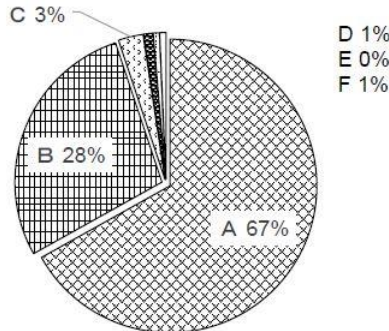
12. 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。



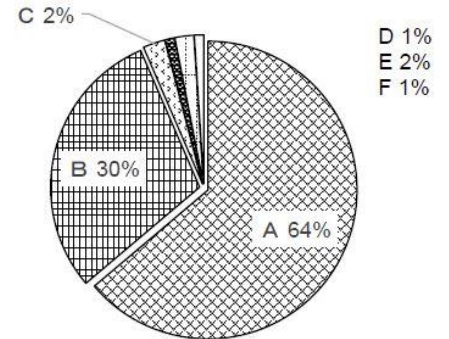
13. 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。



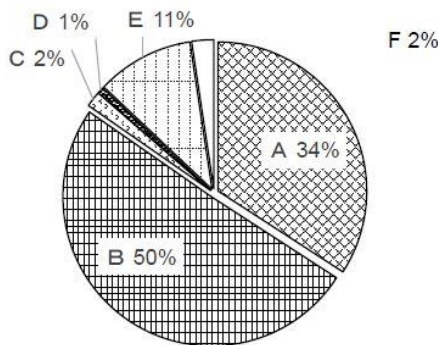
14. 子どもは、運動会などの学校の行事に、楽し参加している。



15. 子どもは、長小まつりやわくわく活動などを楽しみにしている。



16. 学校は、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、保健教育・保健管理に適切に取り組んでいる。



お忙しい中、アンケートに丁寧にご回答いただき、ありがとうございました。全項目について、肯定的な回答が多く、学校での取組みにご理解をいただいていることに感謝申し上げます。

自由記述欄にも、多くのご意見をいただきました。アンケート結果及びいただいたご意見を謙虚に受け止め、来年度も「だれもが元気になるみんなの学校」をめざし、教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、長野小学校の子どもたちのために、どうぞよろしくお願いいたします。



●学校教育についてのアンケート結果より●

○『12. 学校へ行くのを楽しみにしている』……【肯定的回答】R4:89% → R5:91%

○『15. 児童会活動(長野小まつりやわくわく活動)を楽しみにしている』…【肯定的回答】R4:83% → R5:94%

今年度は、スポーツテストや長小まつりなど、異学年が同じグループで活動する活動を積極的に行いました。また異学年交流のあらたな取組みとして、「わくわく活動」を始めました。ここでは、高学年が企画進行を担当しゲームレクをするなど、楽しい活動の中でコミュニケーション能力や相手の気持ちを考え関わる力などをつけています。来年度は、長小まつりを9月中旬に行う予定をしており、長期休み明けの登校への意欲を高める1つの手立てとしたいと考えており、さらに異学年交流を進めていく予定です。

▲『5. 不正な言動には厳しく指導している』…【否定的回答】R4:13% → R5:14%

▲『6. 学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる』…【否定的回答】R4:10% → R5:9%

昨年同様、割合が高いわけではありませんが、この項目の結果に関しては、学校としても真摯に受け止めています。教員アンケートのこの項目では、肯定的回答がほぼ100%となっており、「いじめは絶対にあってはならないが、起こりうるものだから、クラスの中の子どもの言動をしっかりと見つめよう」と意識して取り組んでいます。子どもは、他人のことを思いやり行動する力がまだまだ未熟です。だからこそ、子どもたちの普段の言動に注視し、周りの人に対して優しい気持ちになるような言葉を日々使えるようにすることが学校の役割と捉えています。そのためには、我々教員がなげかける言葉も大切です。厳しい中にも何が悪かったのか明確に伝え、子どもが次はどうしたらいいのか理解できるような指導を行うことで、今後もいじめのない学校づくりに取り組んでいきます。

▲『2. 学校は教育活動や学校での子どもの様子について伝えている』…【肯定的回答】R4:88% → R5:83%

今年は、運動会や参観における来校者数の制限をなくすことで、子どもの活動する様子を多くの保護者の方に見てもらいたいと努めてきたつもりですが、保護者のみなさまの厳しいご意見を痛感しています。記述によるご意見の中には、コロナ禍があげたことで子どもの活動を記録として残せる行事等の設定を願われたものもありました。行事につきましては、コロナ禍だけが実施できなかった理由ではなく、教育課程にもとづいた教育活動の設定や、学校安全への配慮、家庭の状況、学級閉鎖などを考慮し、本年度できる限りのことを実施しました。しかしながら、開かれた学校であるためにも、保護者が来校する行事を大切にしたいと考えております。また、校門開放など、保護者が自由に参観できる機会を周知したいと考えています。また、「学校だより」や「ホームページ」等も引き続き活用し、学校での子どもの様子を伝えていきます。

おわりに、今年度はQRコードによる回答でアンケートを実施しました。学校教育のICT推進に関して、国の通知においても、紙の印刷から、データによるアンケートの回収がすすめられています。しかし、昨年に比べ回答数が減っていたことが気になっています。データで送信することの不安なのか、紙媒体を家庭に配付することが回答に対する意識の高まりにつながっていたのか、様々な理由を考えています。また来年度は、学校からの連絡もミマメルメでなく、テトル(tetoru)を活用し、配付物のデータ送付も限定的に始めたいと考えています。これらに関して、PTA役員さまをはじめ、保護者の方々のご意見を聞きながら、本校にあった方法を実施します。今後ともご理解ご協力よろしくお願いいたします。